

合理的配慮

学習状況の科学的なアセスメント

たとえば、**定期的なアセスメント**を個別指導に生かしているのに、次のような子どもの姿を目にすることはないか、**振り返って**みましょう。



ある
 集団の中になると、自信のない表情などが見られる。



集団の中になると、授業中の立ち歩きがなかなか止まらない。

こんな姿も

この姿が生まれる理由を「**子どもの視点**」から掘り下げてみましょう。

少しずつできるようになっていることを認められている実感はあるでしょうか？

分からない状態のまま、集団の中で授業が進んでいるのではありませんか？

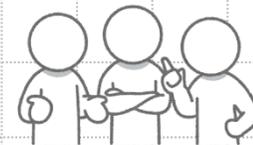
こんな理由も

「**子どもの視点**」に立って、自分の実践を見直してみましょう。

[Blank space for reflection]

「**子どもの視点**」に立って見直した内容を**交流**してみましょう。

メモ



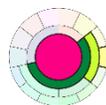
【参考】^{ミム}多層指導モデル MIM

MIMは、Multilayer Instruction Model の略で、多層指導モデルという意味です。多層指導モデル MIMでは、通常の学級において、異なる学力層の子どものニーズに対応した指導・支援を提供していきます。(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「多層指導モデル MIM」)

試みたいこと

「**学習状況の科学的なアセスメント**」という着眼点で「**子どもの視点**」から授業づくりをする際に心に留めておきたいこと、新たな選択肢として試みたい実践などを記入しておきましょう。

(研修実施日 年 月 日 氏名)



長野県教員育成指標との関連

「学習状況の科学的なアセスメント」は、E「教育のプロ」としての高度な知識や技能の〈現代的な諸課題への対応〉^⑩〈インクルーシブな教育〉に関連しています。